

# ULTRASTYLE <sup>Vol.</sup> 34

第13回JFL前期第1節

Design by ULTRAS MATSUMOTO

11.03.13

## MATSUMOTO YAMAGA F.C. VS ソニー仙台FC

Jリーグへ行こう。みんなで行こう。

### いよいよ僕らの街のクラブが、 Jリーグへ行くとときが来ました。

もちろん、全ては始まってみないと分かりません。しかし、これだけJリーグへ行くことを強く望み、行動するシーズンは初めてです。今年は、絶対に山雅がJリーグへ行くんだ、というシーズンなのです。そのことに異論のあるサポーターは、いないと思います。

では、山雅がJリーグへの階段を上るためには何が必要か。それは、自分がクラブに貢献するんだという、強い意識だと思えます。

今は沢山の人が訪れる山雅の試合でも、昔はガラガラだった頃がありました。その頃は運営も応援も、全てが手作りです。サポーターもボランティアも垣根無く、アイデアを出し合いました。イベントの企画や、応援の方法、クラブの広報活動まで。一人ひとりが得意なことを活かし、それをみんなで助け合っただけで形にしてみました。

そういう姿勢は、今もこのクラブに根付いています。

試合の告知活動には、クラブのスタッフ以外に、サポーターやボランティアも参加します。みんなで協力して広告を配ったり、ポスターを店先に貼り出してもらえようお願いしたりするのは。僕は山雅のそういうところが好きだし、そんな貢献の積み重ねが、今の状況を作っているのだと思います。

ほんの少しのことで構いません。選手が落ち込んでいるときに励ましの声を掛けたり、良いプレーに拍手をしたり。友達を誘ってアルウィンに来たり、車に乗り合わせて駐車場のスペースを空けたり。山雅の新しい楽しみ方を考えたり、それを実践してみるのも面白いかもしれません。そんな一人ひとりの、ほんの少しの貢献が集まったなら。それが昇格への階段の、一段を乗り越える力になるかもしれません。もしそうなれば、そのとき僕らはクラブを昇格させる力になったと、そう言えるでしょう。

僕らは永遠に生きていける訳ではないし、山雅をどれだけ応援していただけるかもわかりません。この先、このクラブがJリーグで優勝し、世界の強豪と戦う姿を観ることは、叶わないのかもしれませんが。

しかし、山雅をJリーグへ昇格させることはできるのです。昇格した後にサポーターになる人々がどうやっても参加できない物語の中に、今、僕らはいるのです。

この物語に参加する権利は、いまここで山雅に携わる全ての人々が持っています。僕らも観客席で見ているのではなく、登場人物となり、舞台へ上がりましょう。物語がハッピーエンドになるよう、貢献する気持ちを持って、行動しましょう。みんなで魂を一つにして、挑みましょう。

今シーズンが終わったときに、全員が胸を張って「俺が山雅を昇格させたんだ」と笑顔で言えれば、僕は最高だと思います。

いよいよ僕らの街のクラブが、Jリーグへ行くとときが来ました。このクラブを初めて観た時からずっと思い描いていた夢が、もうすぐそこにあります。熱く、楽しく、温かく、そして山雅らしく。一人ひとりの力を合わせて、一つの魂でJリーグへ駆け上がりましょう。

さあ、みんなでJリーグへ行こう！！

[ written by ようへい ]

こんにちはUM estです。

我々は関東在住のUM、簡単に言いますとUMの関東支店のようなものです。関東在住と言うことで、例えば関東での試合などUMの応援活動など。またホームゲームにおいてはサブリードをやらせてもらうなど、ゴール裏をさらに熱く盛り上げられればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

UM estは今シーズンより、松本山雅ホームゲームでのコールの広範囲への波及、組織体制の強化を目的として、本隊ULTRAS MATSUMOTOのサブリードの任を担わせていただくこととなりました。また、これに合わせまして活動場所をコア部からバックスタンド方向へ数ブロック移動します。ULTRAS MATSUMOTOの発展、そしていままで以上に熱いゴール裏にできるよう、微力ながら頑張っただけですので、何卒よろしくお願いいたします。

UM est Blog : <http://ameblo.jp/um-est>

